

平成 22 年度

教育委員会の活動状況に関する
点 検 ・ 評 価 報 告 書

喜茂別町教育委員会

目 次

I	はじめに	1
II	点検・評価結果	
1	教育委員会議の開催状況	1
2	教育委員協議会の開催状況	3
3	教育委員研修会への参加状況	4
4	教育委員の学校訪問の実施状況	5
5	分野別事項	
	【保育所と小学校との連携強化】	6
	【学校教育】	
	(1) 確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成	6
	(2) 開かれた学校づくり	8
	(3) 喜茂別町学校第三者評価	9
	(4) 特別支援教育	11
	(5) 学校施設の整備	11
	(6) 学校給食	11
	【社会教育】	
	(1) 社会教育委員会議の開催状況	12
	(2) 体育指導員会議の開催状況	13
	(3) 子ども読書活動推進計画の策定	14
	(4) 社会教育行政施策の点検・評価	14

I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定により、喜茂別町教育委員会の権限に属する事務の管理と執行の状況について点検・評価を行ったので喜茂別町議会に報告するとともに、公表する。

点検・評価事項は、教育委員会議の開催状況・教育委員の研修状況など教育委員会の活動状況に関する事、教育行政の執行方針に盛り込んだ施策等の執行状況に関する事、社会教育施策・事業等の実施状況に関する事を主な内容とした。

II 点検・評価結果

1 教育委員会議の開催状況

(1) 取り組みの概要

定例及び臨時の教育委員会議の平成 22 年度中における開催日程及び審議事項等については、次のとおりである。

招集期日	審議事項
22.5.27 (定例会①)	<p>○報告事項</p> <ul style="list-style-type: none">・ 事業等の実施結果について・ 入学式における国旗掲揚、国歌斉唱等の実施結果について・ 学校職員の勤勉手当に係る給与決定手続きについて(評定結果)・ 喜茂別町立鈴川小学校長の人事異動について・ 喜茂別町社会教育委員の委嘱に係る専決処分報告(2 名) <p>○議決事項</p> <ul style="list-style-type: none">・ 喜茂別町学校給食センター運営委員会委員の委嘱(8 名)・ 教科書採択教育委員会協議会委員及び代理人の選任・ 喜茂別町子どもの読書活動推進計画策定委員会設置要綱の制定・ 平成 21 年度喜茂別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価について
22.6.17 (臨時会①)	<p>○報告事項</p> <ul style="list-style-type: none">・ 事業等の実施結果について・ 学校職員の 6 月期における勤勉手当に係る成績判定結果 <p>○議決事項</p> <ul style="list-style-type: none">・ 喜茂別町立学校設置条例の一部改正について(喜中の校舎移転のため位置の変更)

招集期日	審議事項
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 22 年度教育関係補正予算(喜小ボイラー修繕工事費及び準要保護援助費の増額)
<p>22.7.27 (定例会②)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業等の実施結果について
<p>22.8.20 (臨時会②)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業等の実施結果について ○議決事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 23 年度から使用する小学校用教科用図書の採択(学習指導要領の改訂による教科書の採択)
<p>22.9.22 (定例会③)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業等の実施結果について ○議決事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校職員の処分内申について
<p>22.11.30 (定例会④)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業等の実施結果について ・ 学校職員の 12 月期における勤勉手当に係る成績判定結果 ・ 学校職員の処分内申に係る報告について
<p>23.1.27 (定例会⑤)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業等の実施結果について ・ 地域活性化・きめ細かな臨時交付金による事業の実施について(鈴小体育館屋上防水工事、武道館天井改修工事) ・ 地域活性化・住民生活に光をそそぐ臨時交付金事業の実施について(町図書室改修、鈴小図書室整備、学校図書室等の図書整備) ・ 会計検査院の实地検査の受検について ○議決事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 23 年度全国学力・学習状況調査に関する実施方針について
<p>23.3.1 (定例会⑥)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業等の実施結果について ・ 平成 23 年度一般教職員の人事異動に関する経過について ○議決事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 23 年度教頭の人事異動の内申について

招集期日	審議事項
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 22 年度喜茂別町文化貢献賞被表彰者の決定について(4 名) ・ 平成 22 年度喜茂別町スポーツ貢献賞被表彰者の決定について(6 名) ・ 学校職員の訓戒措置について ・ 平成 22 年度教育関係補正予算について(不要額の減額) ・ 平成 23 年度教育行政執行方針及び平成 23 年度教育予算について
23.3.15 (臨時会③)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業等の実施結果について ○ 議決事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 23 年度教職員の人事異動の内申について
23.3.29 (臨時会④)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業等の実施結果について ・ 卒業式における国旗掲揚及び国歌斉唱の実施結果について ・ 平成 23 年度喜茂別町教育委員会事務局職員の人事異動について ・ 「教職員の服務規律等の実態に関する調査」に係る無回答者への注意指導を行った件について ○ 議決事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について ・ 学校評議員の委嘱について ・ 喜茂別町学校管理規則の一部を改正する規則の制定について(指導要録の様式の改正)

(2) 進捗状況

喜茂別町教育委員会会議規則の定めるとおり定例会を奇数月に 6 回開催するとともに、臨時会を 4 回開催した。議案及び会議資料を事前に配布することにより会議の充実と活性化に努めた。

(3) 今後の課題・改善点

平成 22 年度は定例会 6 回と臨時会 4 回の合計 10 回の教育委員会議を開催した。定例の教育委員会議は、会議規則により奇数月に招集することと規定されているが、会議の活性化と適切な意思決定を図るため毎月招集について検討する。

2 教育委員協議会の開催状況

(1) 取り組みの概要

定例及び臨時教育委員会議の開催にあわせて、重要な事項について情報共有し

委員相互の意見交換を行うため、次のとおり教育委員協議会を開催した。

開催期日	協議案件
22. 5.27	○ 生徒指導のあり方について
22. 6.17	○ 生徒指導のあり方について ○ 保育所の所管替えについて ○ 小学校社会化副読本の改訂について ○ 喜茂別中学校の校舎移転の進め方等について
22. 7.27	○ 平成 23 年度から使用する小学校用教科用図書の採択協議の状況について
22. 9.22	○ 平成 22 年度全国学力・学習状況調査結果の概要について
22.11.30	○ 平成 22 年度全国学力・学習状況調査結果について ・各教科における平均正当率、質問紙調査の分析について ○ 平成 23 年度教職員人事異動に関する課題等について ○ 平成 23 年度喜茂別小学校における学級編成のあり方について(特別支援教育の充実)
23. 1.27	○ 平成 23 年度教育行政執行方針の骨子について

(2) 進捗状況

平成 22 年度は、上記の内容について教育委員会議の終了後協議会を開催し、定例会及び臨時会とあわせて、会議の活性化に努めた。

(3) 今後の課題・改善点

引き続き、教育行政の重要課題等に関する教育委員相互の意見交換や協議の場を設け、合議機関としての教育委員会の活性化を図る。

3 教育委員研修会への参加状況

(1) 取り組みの概要

日 程 等	内 容
22. 7. 8 (札幌市)	○第 47 回北海道市町村教育委員研修会 ・ 北海道教育委員会教育長講話 「子どもたちのために 今なすべきことは」 ・ フォーラム(事例発表) ①「教育委員会活性化のための取り組み」 今金町 ②「すべては子どもたちのために～町内隅々まで教育的土壌

	を耕すための公民館活動～」 苫前町 ③「小中高一貫教育の取り組みについて」 鹿追町
22. 8.26 (留寿都村)	○後志町村教育委員会協議会教育長部会研修会 ・ 講演「特別支援教育の推進について」 道立特別支援教育センター所長 荒木 文生 ・ 研究協議 ①「共和町における特別支援教育について」 共和町 ②「複写機等の機器の使用に関する取扱規程について」 蘭越町 ③「教育委員会評価の推進について」 赤井川村 ④「真狩村学校支援地域本部事業の取組」 真狩村 ・ 講話「後志教育の課題と解決の方向」 後志教育局長 阿部 豊
22.10.27 (札幌市)	○北海道町村教育委員会連合会教育長部会研修会 ・ 講義「教育行政の今日的な課題について」 北海道教育庁学校教育局長 ・ 教育委員会制度及び学力向上に関する研修
22.10.29 (留寿都村)	○後志管内町村教育委員研修会 ・ 講演「後志の子どもたちのために～大人の役割と責任を考 える～」 後志教育局長 阿部 豊 ・ 教育局所管事項説明 次長 北林 靖市郎 ・ 事例発表「学校支援地域本部事業の3年間を振り返って」 留寿都村教育長 浪越 和一

(2) 進捗状況

広域で開催された全ての研修会に参加し、教育行政の課題に対する認識を深め視野を広めるとともに情報交流を行った。

(3) 今後の課題・改善点

地教行法の改正により都道府県教育委員会は、教育委員の研修を進めることとされているので、積極的にこれらの研修会に参加することにより研鑽を深め、執行体制の充実に努めていく。

4 教育委員の学校訪問の実施状況

(1) 取り組みの概要

教育委員の学校訪問は任意の取組であり、平成22年度は実施しなかった。

(2) 今後の課題・改善点

教育委員の学校訪問を不定期に実施してきたが、今後は継続的に実施することが望ましいと考えている。また、実施方法についても、幅広く教育行政の推進を図る観点から、例えば町議会や社会教育委員との合同開催など、そのあり方について再検討する。

5 教育行政執行方針における分野別事項

【保育所と小学校との連携強化】

① 取組の概要

保育所から小学校への円滑な接続を果たすため、園児の「喜小まつり」への参加や「一日入学」を通じて学校体験を行った。また新入学児の検診・発達の検査を実施しているが、緊張する園児が多いため、検査にあたる校長が事前に保育所を訪問し交流を図った。さらに、小学校入学時において、保育士と小学校教諭との引継会を設け、保育要録の内容などの情報交換を実施した。

② 進捗状況

園児と小学生の交流や校長が保育所の諸行事に出席し年長組の園児の様子を把握できたことにより、小学校入学後の指導や支援に繋げることができた。

③ 今後の課題・改善点

園児が小学校に入学後速やかに学校生活にとけこむためには、事前に学校環境を知っておくことが重要であり、授業の様子などを見学する機会を増やすことが必要である。また、小学校への引継ぎについても工夫し、個に応じたきめ細かな指導に繋げていくこととしたい。

【学校教育】

(1) 確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成

① 取り組みの概要

項目	取り組み状況
確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力向上の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 喜小では基礎学力の定着、言語力の育成を教育活動の課題として捉え、「一人ひとりが輝く」ことを校内研究のテーマとして子どもたちの生きる力を育むための研修が深まるとともに、指導方法の改善に努めた。 ・ 全国学力・学習状況調査結果を分析し学力向上プランを作

	<p>成し指導方法の向上を図るとともに、調査結果を保護者に通知して家庭との連携を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校では学校から家庭に「家庭学習の手引き」を配布し、家庭学習の定着に努めた。 ・ 鈴川小学校では、冬期休業期間中に「補充学習」の取り組みを行った。 <p>○教員の加配によるきめ細かな指導の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 喜小では教員の加配制度により 1 名の増員配置を受け、チームティーチング(TT)によりきめ細かな学習指導を行った。 <p>○小学校における外国語活動への ALT の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 喜小、鈴小の外国語活動に対し、言語や文化についての理解を深めるため ALT1 名を派遣し、子どもたちのコミュニケーション能力等の育成に努めた(北海道の退職教員等人材活用事業)。
豊かな心の育成	<p>○ 道徳教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 喜小では研究事業や参観日に道徳の時間を公開し、道徳の授業の充実が図られた。 ・ 新たに導入した「副読本」を活用し道徳の授業の実践に努めている。 ・ 喜小では、人権擁護委員会の協力により「いじめの防止」をテーマにした授業が行われた。 <p>○読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心の教育のため、小学校で朝読書の実施や読み聞かせの取り組みがされた。 <p>○教育相談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 校において計画的に教育相談を実施し、教員と児童・生徒との温かい人間関係づくりに努めることにより、教育上の諸問題について相談・指導を行った。
健やかな体の育成	<p>○ 体育の授業の充実等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鈴川小学校では、「運動の楽しさを味わい、すすんで体づくりに励む子どもの育成～基礎体力の向上を目指す指導法の工夫」を校内研修のテーマとし、運動能力の向上を図るとともに、放課後に運動に親しむ機会をつくり体力向上に努めている。 ・ スキー授業へ部外指導者の支援を受け、運動能力と体力向上に努めた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動や少年団活動並びに社会教育事業により児童・生徒の体力づくりが継続的に行われた。 ○ 食育の推進について <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 22 年 4 月から喜茂別小学校に栄養教諭を配置し、食と健康に関する指導を行った。
--	---

② 進捗状況

子どもたちの生きる力を高めるためには教員の指導力の向上が重要であり、各校とも校内研修に努めているが、計画的・継続的に推進する必要がある。道徳教育については、さらに工夫する必要がある。

③ 今後の課題・改善点

校内研修の推進を図るため、授業交流の計画的な実施や中学校における教科経営案の交流を積極的に行うことが必要である。

学校 ICT 環境整備事業により導入した設備を利活用した授業を行い、児童・生徒の関心や興味を引き出していく取り組みを積み重ねていくことが求められる。

道徳教育を充実させるため「心のノート」や副教材を活用し、児童・生徒の心に残る道徳の授業を行うことが課題であり、授業交流や外部人材の活用など学校としての積極的な取り組みが必要である。

子どもたちの体力向上を図るため、各校において独自の取り組みが求められる。

子どもたちが健やかに成長するためには、学校と家庭の連携が重要であり、家庭学習や読書習慣の定着に向けて継続的な取り組みが必要である。

(2) 開かれた学校づくり

① 取り組みの概要

学校が教育目標や重点事項などの教育活動の実施状況を、保護者や地域に伝えることにより、学校の説明責任を果たし相互理解を深めることにより、信頼される学校づくりを進めている。

② 進捗状況

地域に開かれ信頼される学校づくりを進めるため学校評価活動の取り組みが重要であり、3 校とも教職員による自己評価、学校評議員による学校関係者評価(年 3 回、そのうち中間開催は 3 校合同開催)、保護者アンケートの実施、第三者評価委員会議(年 3 回)との一体的な取り組みとして定着してきている。また、平成 22 年度から教育委員が評価会議に出席し、課題の把握を行うとともに必要な支援策の具体化に努めている。

③ 今後の課題・改善点

学校評価は学校運営の改善を通じて学校の教育水準の向上に資すること、保護者や地域から信頼される学校づくりを進めるための重要な取り組みである。

3校とも学校課題が焦点化され、改善の方向性がわかりやすい評価に努めており、引き続き工夫していくことが求められる。

(3) 喜茂別町学校第三者評価

① 取り組みの概要

喜茂別町学校第三者評価は、学校経営や学校運営など教育活動について外部からの視点で評価し、その結果を学校に伝えることにより、次年度の改善に繋げることを目的として平成 19 年度から実施している。

② 進捗状況

平成 22 年度における喜茂別町学校第三者評価委員会の開催状況については次のとおり。

日程	内 容	備考
22. 7.27	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 22 年度学校経営の理念、方針、重点について学校長から説明 ○ 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中連携の具体化をのぞみたい。 ・ 子どもたちが喜んで学校へ行ける雰囲気为学校づくりをしてほしい。 ・ 学力向上のための具体策を説明してほしい。 ・ 前年度の評価結果を基に、今年度の改善点を明確に説明願いたい。 	◆出席者 第三者評価委員 教育委員 喜小校長 鈴小校長 喜中校長
22.12.20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中間評価、学力向上、校内研修等の取り組み状況について学校長から説明 ○ 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・ 鈴小の補充学習の内容について ・ 小学校の全国学力学習状況調査で子どもたちが将来の目標や夢を持っていない傾向があるがどのように考えられるか。 ・ 中学校での道徳教育の取り組みが不十分であるが、校内研修の取り組みは? ・ 喜小では昨年度までの評価方法が 4 段 	◆出席者 第三者評価委員 3 校の学校評議員 教育委員 喜小校長・教頭 鈴小校長・教頭 喜中校長・教頭

	<p>階でわかりやすかったと思うが、本年度から文章表記にした理由は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校では外国人講師による英語の授業が行われているが、中学校でも外国人講師を導入してほしい。 	
23.3.29	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度末評価結果の説明 ○ 意見交換 ・ 地域に開かれた学校づくりのためには、管理職が率先して地域行事等へ参加することが必要であり、努力してほしい。 ・ 中学校では特に「開かれた職場づくり、チームとしての職場づくり」など職員の協働体制に対する評価が低い。学校経営の根幹に関わることなので改善の取組が必要だ。 ・ 中学校の評価結果を見ると、学校の課題が明確にわかる内容となっており、評価方法としてはわかりやすい内容である。 ・ 中学校の保護者アンケートでは、「学校の生徒に対する熱意が感じられない」、「学習や生活場面で子どもの元気がなく残念」、「家庭との連携が不十分」などと学校体制について厳しい指摘があり、職員の自己評価結果とも符合している。校長の指導力の発揮に期待したい。 	<p>◆出席者</p> <p>第三者評価委員 教育委員 喜小校長 鈴小校長 喜中校長</p>

③ 今後の課題・改善点

本年度は、第三者評価委員会の委員長が都合により退任されるとともに、転出された委員もあり補充がかなわなかった。小規模自治体における自己評価、学校関係者評価、第三者評価の効果的な運用についてあらためて検討する必要がある。

(4) 特別支援教育

① 取り組みの概要

平成 20 年度から喜小に教育支援員 1 名を、平成 22 年度からさらに 1 名の教育支援員を配置し、きめ細かな学習や生活支援に努めている。また、「喜茂別町特別支援連携協議会」を開催し、支援のあり方に関する情報交換や支援策の検討を行った。

② 進捗状況

各学校において特別支援教育コーディネーターを核として、校内支援体制の充実に努めた。喜小では、支援員 2 名により個に応じた指導ときめ細かな指導を行った。喜茂別町特別支援連携協議会において、「個別の教育支援計画」の作成に向けた検討会を開催し、平成 23 年度から各学校で取組むこととした。

③ 今後の課題・改善点

発達障がいについて、保護者をはじめ地域の人たちの理解を深めることが昨年度に引き続き課題となっている。

(5) 学校施設の整備

① 取り組みの概要

平成 22 年度に計画した事業は、北海道から譲渡された旧喜茂別高校を喜茂別中学校として使用するため校舎の一部改修及び鈴川小学校校舎漏水防止のための屋上防水工事(地域活性化交付金事業)の 2 件である。

② 進捗状況

新喜茂別中学校は、夏期休業期間中に特別教室、職員室及び会議室等の改修工事を完了するとともに移転した。鈴川小学校校舎屋上防水工事についても計画どおり施工した。

③ 今後の課題・改善点

教育環境を維持するため、学校施設の計画的な維持補修に努める。

(6) 学校給食

① 取り組みの概要

安全・安心な学校給食の提供と、子どもたちの心身の健全な成長を促すため食育の推進を図る。

② 進捗状況

学校給食衛生管理基準の改正により、初めて微生物検査と理化学検査を実施するとともに、保健所の指導を受け衛生管理の徹底に努めた。また、平成 22 年 4 月 1 日から喜茂別小学校に栄養教諭を配置し、給食時間における指導をはじめ授業の中で、好き嫌いをしないこと、食べ物への感謝の気持ちを持つことなど食育に関する指導を行った。

学校給食施設は昭和 46 年に建設し老朽化が進むとともに新しい衛生管理基準に合った施設の更新が課題となっているが、児童・生徒の減少により広域化について検討した結果、京極町が施設を建設し本町が事務委託を行う方式とす

ることで合意した。

③ 今後の課題・改善点

子どもたちのまわりには豊かな食生活が保障されている反面、生活習慣病や健康障害など食に起因する新たな健康問題も懸念されるため、栄養教諭による幅広い教育、指導を実施していくことが重要である。

学校給食施設の広域化については、京極町との間で平成 24 年度施設改築、平成 25 年度から京極町に事務委託する方向で進める。

【社会教育について】

(1) 社会教育委員会議の開催状況

① 取り組みの概要

社会教育委員会議を四半期ごとに開催し、当該年度の事業計画の策定を行うとともに事業の円滑な実施に努めている。また、社会教育事業の自己評価結果について、再評価している。

開催期日	会議内容
22. 4.28	<ul style="list-style-type: none">・平成 22 年度喜茂別町社会教育推進計画の決定について・平成 22 年度社会教育関係予算の内容について・平成 22 年 4 月～6 月の社会教育事業の実施予定について・喜茂別町文化及びスポーツ貢献表彰審議委員の選出について・子どもの読書推進計画の策定について
22. 6.23	<ul style="list-style-type: none">・平成 22 年 4 月～6 月までの社会教育事業の実施結果報告について・平成 22 年 7 月～10 月の社会教育事業の実施予定について・ボランティアバンクの登録状況について
22.10.15	<ul style="list-style-type: none">・平成 22 年 7 月～10 月までの社会教育事業の実施結果報告について・平成 22 年 11 月～平成 23 年 3 月の社会教育事業の実施予定について・平成 22 年社会教育事業(前期)に係る点検評価について
23.3.23	<ul style="list-style-type: none">・平成 22 年 11 月～平成 23 年 3 月までの社会教育事業の実施結果報告について・平成 22 年度社会教育事業(後期)に係る点検評価について・「第 4 期喜茂別町社会教育中期計画(平成 24 年度～平成 28 年度)」(以下「新中期計画」という。)の策定について

② 進捗状況

当初計画どおりに会議を開催するとともに、各種事業へ委員が参加する体制がとれた。

③ 今後の課題・改善点

新中期計画の策定に向けて、各委員の事業への参加を増やすなど、事業の一般的な把握が望まれる。少子高齢化、過疎化が進行する中で地域を守る人づくりの進め方など社会教育のあり方について議論することが必要である。

(2) 体育指導員会議の開催状況

① 取り組みの概要

体育指導員会議を四半期ごとに開催し、事業計画の策定と円滑な実施に努めている。また、社会教育事業の自己評価結果について、再評価している。

開催期日	主な会議件名
22. 4.23	・平成 22 年度喜茂別町社会教育推進計画の決定について ・平成 22 年度社会教育関係予算の内容について ・平成 22 年 4 月～6 月の社会教育事業の実施予定について ・喜茂別町スポーツ貢献賞表彰審議委員の選出について
22. 6.25	・平成 22 年 4 月～6 月までの社会教育事業の実施結果報告について ・平成 22 年 7 月～10 月の社会教育事業の実施予定について
22.10.29	・平成 22 年 7 月～10 月までの社会教育事業の実施結果報告について ・平成 22 年 11 月～平成 23 年 3 月の社会教育事業の実施予定について ・平成 22 年度社会体育事業(前期)に係る点検評価について
23. 3.25	・平成 22 年 11 月～平成 23 年 3 月までの社会教育事業の実施結果報告について ・平成 22 年度社会体育事業(後期)に係る点検評価について

② 進捗状況

当初計画どおりに会議を開催するとともに、各種事業の運営にあたった。

③ 今後の課題・改善点

新たな中期計画の策定にあたり、これまでの事業評価結果をもとにするとともに、住民ニーズと社会の変化をとらえて新中期計画の計画期間となる 5 年間の展望することが必要である。

(3) 子ども読書活動推進計画の策定

① 取り組みの概要

子どもたちの読書ばなれの傾向が顕著であり、より望ましい方向へ動かすため平成 13 年 12 月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、子どもたちが自主的に読書活動を行うことができるよう、地方公共団体にも計画の策定が求められている。平成 21 年度末における北海道内の市町村で計画策定済みは 48 町村で策定率は 26.8%であり、本町においても当該計画を策定し読書活動を推進する。

② 進捗状況

平成 22 年 7 月に「喜茂別町子どもの読書活動推進計画策定委員会」(委員 10 名)を設置するとともに、町内の小中学生及び保護者アンケートを実施し、平成 23 年度から 5 年間の計画期間とする「喜茂別町子ども読書活動推進計画」を策定した。

③ 今後の課題

子どもたちが自主的に読書活動を行うことができるよう、町図書室や学校図書室の図書整備、ブックスタート事業や読み聞かせ活動の展開など計画に基づいた継続的な取り組みが求められる。

(4) 社会教育行政施策の点検・評価

平成 22 年度社会教育の事業として、家庭教育、青少年教育、成人教育、高齢者教育、スポーツの振興、芸術・文化の振興の 6 つの領域の 30 事業を計画した。その事業ごとの評価結果は、別紙「平成 22 年度 社会教育行政施策の点検評価」のとおりである。

平成22年度 社会教育行政施策に係る点検評価

平成22年度 社会教育行政施策に係る点検評価一覧目次

家庭教育

○図書まつり(青少年教育、芸術文化の振興)

- (少年教室「わんぱく道場」アウトドアクッキング4⇒青少年教育 P2)
- (少年教室「わんぱく道場」わんぱく川下り⇒青少年教育 P2)
- (みんなのじかん入学記念植樹祭⇒青少年教育 P3)
- (第28回喜茂別町読書感想文コンクール⇒青少年教育 P5)
- (町民講座兼少年教室「わんぱく道場」きもべつ！おもしろ科学実験教室⇒青少年教育 P5)

青少年教育

○少年教室「わんぱく道場」

- ・わんぱく見学旅行 のぞいてみよう科学の世界！
- ・Summer time アウトドア in クッキング3 (家庭教育)
- ・わんぱく川下り (家庭教育)
- ・わんぱくスケート体験(スポーツの振興)

○みんなのじかん

- ・子ども野球教室(スポーツの振興)
- ・入学記念植樹祭 (家庭教育・高齢者教育)
- ・子ども水泳教室(スポーツの振興)
- ・かんたん書道体験教室 (芸術・文化の振興)

○尻別川クリーン作戦

○秋樂祭 (芸術・文化の振興)

○第28回喜茂別町読書感想文コンクール (家庭教育、芸術・文化の振興)

○町民講座兼少年教室「わんぱく道場」きもべつ！おもしろ科学実験教室

(図書まつり⇒家庭教育 P1)

フレッシュ大学事業

(史跡整備 お大師山清掃活動 中学生との交流⇒高齢者教育 P7)

(第1回交通安全事業「子どもたちと帰ろう！」⇒高齢者教育 P7)

(第2回交通安全事業「子どもたちと帰ろう！2」⇒高齢者教育 P8)

成人教育

○喜茂別町成人式

(少年教室「わんぱく道場」きもべつ！おもしろ科学実験教室⇒青少年教育 P5)

(アクアウエーブ水泳教室⇒スポーツの振興 P11)

(アルペンスキー・スノーボード教室⇒スポーツの振興 P12)

高齢者教育

P1

○喜茂別町フレッシュ大学事業

- ・フレッシュ大学実行委員会総会 P7
- ・史跡整備 お大師山清掃活動 中学生との交流(青少年教育) P7
- ・第1回交通安全事業「子どもたちと帰ろう！」小学生との交流 (青少年教育) P7
- ・フレッシュ大学研修旅行 P8
- ・第2回交通安全事業「子どもたちと帰ろう！2」小学生との交流(青少年教育) P8
- ・第18回真狩村・喜茂別町高齢者学級高齢会 P9
- (みんなのじかん入学記念植樹祭⇒青少年教育 P3)
- (教育長杯ゲートボール大会⇒スポーツの振興 P10)

スポーツの振興

P2

○教育長杯ゲートボール大会 (高齢者教育) P10

P2

○健康づくりラジオ体操会 P10

P2

○教育長杯パークゴルフ大会 P10

P3

○町民登山 喜茂別岳登山会 P11

P3

○秋の町民歩こう会 P11

P3

○スポーツ教室(町民講座)

P3

・アクアウエーブ水泳教室 (成人教育) P11

P4

・アルペンスキー・スノーボード教室 (成人教育) P12

P4

(わんぱくスケート体験⇒青少年教育 P3)

P4

(子ども野球教室⇒青少年教育 P3)

P5

(子ども水泳教室⇒青少年教育 P4)

P5

○体育施設関係

P5

・喜茂別町水泳プール開設 P12

・学校体育施設開放事業 P12

芸術・文化の振興

○喜茂別町文化祭

(図書まつり⇒家庭教育 P1)

(かんたん書道体験教室⇒青少年教育 P4)

(秋樂祭⇒青少年教育 P5)

(第28回喜茂別町読書感想文コンクール⇒青少年教育 P5)

P6

P13

事業の領域	家庭教育	領域目標	豊かな家庭をつくる学習機会の充実			
NO	事業名		事業の目的			
1	図書まつり		大型絵本の読み聞かせやパネルシアター等の鑑賞を通して、子どもたちの豊かな感性や情操を培い、子どもが本に触れる機会を設けるとともに、参加者と地域ボランティアの交流を深める。また、図書室の有効利用の推進を図る。			
	事業の概要		事業の成果と課題			
	本の読み聞かせなどを通して子どもたちの言葉や想像力が広がっていき、赤ちゃんからお年寄りまで全ての人が楽しめ、心豊かにできる環境づくりを努める。		参加型の内容が多かったため、とても和やかな雰囲気終了した。より一層本に親しめるように、絵本クイズ等で学習的要素を含めた図書室ならではの事業の展開もできた。参加者からも全体をとおして「楽しかった」「良かった」などの声があった。 次年度以降は、子どもの読書推進計画の中での実施予定になるので、図書室の利用推進等も含めて図書まつりの内容工夫等に努められるような事業の展開をしていく。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模		その他
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止		継続

事業の領域		青少年教育		領域目標	地域を活かした豊かな心と身体の育成		
1	No 事業名			事業の目的			
	少年教室「わんぱく道場」 わんぱく見学旅行のぞいてみよう科学の世界！			札幌市青少年科学館で、プラネタリウムの見学とバーチャリウムの体験を通して、楽しみながら科学に触れることにより、科学に対する関心や興味を深め、創造性豊かな青少年の育成を図ることを目的とする。			
	事業の概要			事業の成果と課題			
	教育委員会バスで札幌市青少年科学館まで移動。科学館で、プラネタリウムの見学・バーチャリウム体験、昼食後自由見学とする。教育委員会バスで移動し解散。			今年からプラネタリウムがアニメ化になっており、子どもたちにとってわかりやすい内容の上映だった。また、各ブース毎の体験では、上級生が下級生と一緒にいるなど仲良く見学をしていた。集団での行動や科学館での見学マナーはよくできていた。集団での行動や見学マナーを学べるよい機会である。			
必要性	有効性	効率性	事業の規模		その他	評価結果	
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	札幌市青少年科学館の協力事業	継続	
2	No 事業名			事業の目的			
	町民講座兼少年教室「わんぱく道場」 Summer time アウトドアクッキング4			自然の中で仲間と協力し合いながら調理する体験を通して、作ることの楽しさを感じてもらうとともに、参加者相互の交流を深めることを目的とする。			
	事業の概要			事業の成果と課題			
	内容は、「米とぎ」「カレーライスづくり」「火おこし」といった参加者同士が協力して調理等を行う。また、体験活動を通して青少年の育成を図り、地域住民との交流を得る。			雨天のため中止。			
必要性	有効性	効率性	事業の規模		その他	評価結果	
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	健康推進課・放課後児童クラブとの連携事業	再考	
3	No 事業名			事業の目的			
	少年教室「わんぱく道場」 わんぱく川下り			日本一の清流尻別川で水辺の生き物観察や炊事体験、自分たちで制作したイカダでの川くだりを通して、自然・郷土を愛する心を育むとともに、参加者同士の交流を深めることを目的とする。			
	事業の概要			事業の成果と課題			
	午前の部 開会式後、小樽建設管理部真狩出張所の協力のもと尻別川に関連した野外学習を行った後、各班(6班)でプログラムリーダー(PL)が中心となつてのイカダづくり、かまどづくり、飯ごう炊飯昼食を行う。午後の部は各自ライフジャケット・ヘルメットを着用し、PLによる川下りの注意説明後、イカダ下りを実施。			雨天による河川増水のため中止。			
必要性	有効性	効率性	事業の規模		その他	評価結果	
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	水辺の楽校・青年交流セミナー・小樽建設管理部真狩出張所との連携事業	継続	

No	事業名	事業の目的				
4	少年教室「わんぱく道場」 わんぱくスケート体験	ウインタースポーツの代表的なアイススケートを楽しみ体験し、その魅力を体感するとともに、スケートを楽しみながら体力の増進を図る。また、参加者同士の交流を深める。				
	事業の概要		事業の成果と課題			
	教育委員会前に集合し、教育委員会バスで泊村アイスセンター「とまりリンク」まで移動する。「とまりリンク」でレンタルのスケート靴・防具等を着用しスケート体験を行う。		初めてアイススケート体験をする子どもたちは、最初は壁につかまり、何度も転びながらも少しずつ滑れるようになっていき、最終的にはリンクを一人で廻れるまでに上達していた。何度か参加している子どもたちは年々上達しており、友だちと追いかけてっこをしたりして最初から最後まで楽しそうに滑っていた。普段なかなか体験することのできない事業なので好評である。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模	その他	評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	泊村アイスセンターとの連携事業	継続

No	事業名	事業の目的				
5	みんなのじかん「Sports倶楽部」子ども野球教室	子どもたちの放課後活動の充実を図るため、体育指導委員・野球協会会員が中心となり、子どもたちの野球技術の向上と、交流を図ることを目的とする。				
	事業の概要		事業の成果と課題			
	準備運動を行った後に、キャッチボール・打撃練習・守備練習を参加者のレベルに合わせて班に分け、指導者が見本を見せながら子どもにわかりやすく丁寧に指導した。また、野球技術向上のため指導内容の工夫もあり、参加者が野球に親しむことのできる事業展開を行った。		参加者のレベルに応じた指導方法により、自己流のフォームや投げ方の修正をすることにより個々のレベルアップがされた。全体的に子どもたちの集中力不足や、基礎体力がないことが改めて認識され、放課後活動の充実を継続的に図る必要がある。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模	その他	評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	町野球協会・体育指導委員会との連携事業	継続

No	事業名	事業の目的				
6	みんなのじかん 入学記念植樹祭	小学校入学を記念し、親子で町木エゾヤマザクラの植樹を行い、郷土への愛着と親子の絆を深めるとともに、参加者同士の交流を深めることを目的とする。				
	事業の概要		事業の成果と課題			
	開会式終了後、後志総合振興局森林室職員により桜の植樹方法について説明、その後参加者は協力して町木エゾヤマザクラの植樹を行った。後志総合振興局森林室職員・桜を育てる会会員・きもべつ青年交流セミナー会員・喜茂別町国土緑化推進委員会職員等が参加者の植樹の手伝いをする。		参加者の1年生と保護者は真剣に植樹方法の説明を聞き、各関係団体の協力を得ながら、会話を弾ませ楽しそうに植樹していた。各関係団体と連携しスムーズに事業が展開できた。本事業は、喜茂別町国土緑化推進委員会が後志森と緑の会より補助を受けて実施している事業である。次年度より植樹場所の確保ができないため、本年度で終了する			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模	その他	評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	我町に百万本の桜を育てる会・きもべつ青年交流セミナー・町国土緑化推進委員会・後志森づくりセンターとの連携事業	終了

No	事業名	事業の目的				
7	みんなのじかん「Sports倶楽部」子ども水泳教室	水に親しみ、泳ぐことの楽しさを感じてもらおうとともに、参加者同士の交流を深めることを目的とする。				
	事業の概要		事業の成果と課題			
	ケガや事故のないよう入念に準備体操を行った後、水泳教室を開始した。参加者の泳力に応じて3つにクラス分けを行い指導した。水に親しみ泳ぎが楽しくなり、最終的にはクロールの息継ぎができるようになることを目標に指導した。		ビート板がなければ泳げなかった子がビート板無しでバタ足で泳げるようになったり、バタ足でしか泳げなかった子どもがクロールの基本動作を身に付けることができた。 本年度は前年度より指導時間を30分長くし、水泳指導歴のある役場職員、放課後児童クラブ指導員、体育指導委員の協力を得て、小学1～3年生を対象に実施した。 町水泳プール利用促進につながる事業である。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模	その他	評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	放課後児童クラブ指導員・体育指導委員・教職員との連携事業	継続

No	事業名	事業の目的				
8	みんなのじかん かんたん書道体験教室	子どもたちの活字離れが進むなか、書道をとおして活字に親しむとともに、豊かな心の育成を図る。子どもたちの作品については、喜茂別町文化祭においてコーナー展示をする。				
	事業の概要		事業の成果と課題			
	社会教育委員が中心となり、10月25日(月)・26日(火)の2日間は喜茂別小学校の児童を対象に、27日(水)・28日(木)の2日間は鈴川小学校の児童を対象にして実施。各学年にあわせた習字の手本により書道教室を行う。各回に各自清書したものを講師に提出する。提出した作品については、喜茂別町文化祭にてコーナー展示する。		子どもたちの活字離れが進むなか、参加した子どもたちは心を落ち着かせ静かな気持ちで書道を体験していた。筆の持ち方や払い方、とめ・はねや字全体のバランスなど講師からアドバイスをうけ取り組んでいた。活字に親しむよい機会であり、社会教育委員と参加した子どもたちの交流も図られた。 参加者の作品を喜茂別町文化祭で書道教室作品展としてコーナー展示し、多くの町民に鑑賞してもらった。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模	その他	評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	社会教育委員との連携事業	継続

No	事業名	事業の目的				
9	尻別川クリーン作戦	日本一の清流尻別川の環境を守るため、自分たちで河川敷地内の清掃を行い、身近な河川への愛着心を育むとともに、参加者同士の交流を深めることを目的とする。				
	事業の概要		事業の成果と課題			
	留産にある2カ所の河川敷において各30分ほど周囲・堤防沿いの清掃を行う。移動には教委バスを利用。拾ったごみはまとめて置いておき、町のごみ処理担当係に回収してもらう。		今年度は開催時期を例年より一ヵ月ほど早め、平日の夕方から開催。当日昼過ぎまでの降雨で河川が増水しており危険なことから、尻別川沿いに走る町道のごみ拾いに急遽予定を変更した。開催時期を早めたことで草木がそれほど成長しておらず、ごみが拾い易かった。また、町のごみ処理担当との連携により拾ったごみの処理がスムーズにできた。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模	その他	評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	青年交流セミナー・喜茂別竿好会・町建設協会・しりべつリバーネットとの連携事業	継続

No	事業名	事業の目的				
10	秋楽祭	全町の児童・生徒が一堂に会し、音楽・文化・芸能に親しむとともに、音楽・文化・芸能を通じて情操を高め相互の交流を図る。				
	事業の概要		事業の成果と課題			
	全町の児童生徒が一堂に会し、音楽を中心に日頃の学習成果を発表する。喜茂別小学校全校生(合唱)、2年生(劇)、鈴川小学校全校児童(和太鼓)、喜茂別中学校2・3年(合唱)、選抜(器楽)、参加者全員(全体合唱)。		各実行委員や各学校の教職員の協力のもと盛会に終了することができた。平成23年度より小学校の授業日数に変更となり、平成24年度から中学校も時数の変更があることから、秋楽祭は平成22年度をもって終了とした。保護者に対する説明については、各学校での参観日等で行い理解を得ていく。今後については、学校で普段体験できないこと等を社会教育の事業として行っていく。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模	その他	評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	各小・中学校との連携事業	終了

No	事業名	事業の目的				
11	第28回 喜茂別町読書感想文コンクール	本に親しむ機会をつくり、読書のすばらしさを体験させ、読書の習慣化を図る。より深く読書し、読書の感動を文章に表現することをおして、豊かな人間性や考える力を育む。さらに、自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う。				
	事業の概要		事業の成果と課題			
	フィクション・ノンフィクションを問わず自由に選んだ本を読んで、最も印象に残った感想を文章にする。小学1・2年生700字以内、小学3・4年生1,300字以内、小学5・6年生1,800字以内、中学・一般は1,800字以内とする。各小・中校生の作品については、各学校で取りまとめ応募する。作品募集の締切を10月25日とする。各学校・葉読書サークルより審査委員を推薦してもらい審査を行う。各賞受賞者については、12月15日に表彰式を行う。		読書推進委員・審査委員・各学校・葉読書サークルの協力により事業を実施した。近年、子どもの「活字離れ」「読書離れ」が指摘されるなか、本事業は子どもの読書活動の推進に欠かせない事業である。読書感想文をおして子どもたちに本を読む楽しさやきっかけづくりなどを学校と連携して負担がかからないよう工夫する必要がある。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模	その他	評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	各小・中学校・葉読書サークルとの連携事業	継続

No	事業名	事業の目的				
12	町民講座兼少年教室「わんぱく道場」 きもべつ！おもしろ科学実験教室	自然科学の面白さを体験してもらい、科学に対する関心や興味を深め、創造性豊かな青少年の育成を図る。体験学習をおして参加者同士が驚きや喜びを共有し合い交流を深める。				
	事業の概要		事業の成果と課題			
	講師・実験演者である倶知安高校教諭の進行・説明によりサイエンスショーを実施。その後4箇所のブース毎で、参加者自らがはさみ等を使って工作した物を用いるなどして、体験型の実験を行う。		独立行政法人科学技術振興機構による地域活動支援事業を利用した開催。サイエンスショーでは「見るということ」をテーマに視覚のトリックや昼間と夕方での空の色の違い等についての説明があり、参加者が驚きの声を上げながらも真剣に講師の話に聞き入っていた。ブース毎での実験では、テレビで見たことのある実験を実際に体験してみたり、自らが作った工作物を用いて実験することにより、科学に楽しく触れ学べる良い機会となった。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模	その他	評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	独立行政法人科学技術振興機構地域活動支援事業を活用しての実施	単年度事業

事業の領域	成人教育	領域目標	主体的な学びと生きがいのある生活づくり			
No	事業名		事業の目的			
1	喜茂別町 成人式		新成人は、社会形成者として様々な社会的権利が与えられます。大人になったことを自覚し、自ら生きぬこうとする青年を心から祝福し激励するものとする。			
	事業の概要		事業の成果と課題			
	喜茂別町長・町議会議長出席のもと厳粛に式を挙行了。式典後、「新成人に戦争を語り継ぐ」といったテーマで栄花豊さんから戦争体験を語ってもらい、戦争の悲惨さやおろかさを知ってもらおうとともに、現代に生きる若者に希望と勇気をもってもらうため実施した。終了後、新成人と来賓と一緒に記念撮影を行い解散した。住民登録対象者 22名。		新成人を祝福し激励する事業として実施していく。儀式的行事のため評価はしない。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模		その他
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止		継続

事業の領域 高齢者教育 領域目標 健康保持と生きがいを高める活動の推進

No	事業名		事業の目的			
1	喜茂別町フレッシュ大学実行委員会総会		高齢者を対象に、健康で生きがいのある充実した生活を送るために、各種交流・研修・奉仕的活動を行う。また、高齢者と各種事業参加者との交流を図ることを目的とする。			
	事業の概要		事業の成果と課題			
	平成22年度の会員募集を行う。実行委員会総会を開催し、平成21年度の事業・決算・監査報告並びに平成22年度の事業・予算・新役員体制の承認を得た。総会終了後懇親会を行い、会員相互の交流を深めた。		平成22年度も、ボランティア活動、小・中学生との交流、真狩村高齢者学級との交流、研修旅行の実施等様々な活動を行い、活発な活動をとおして生き生きと充実した生活を送るという会本来の目的を確認した。 今年度については新規加入者は2名あった。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模	その他	評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	継続	

No	事業名		事業の目的			
2	史跡整備 お大師山清掃奉仕活動		フレッシュ大学会員と中学生とが協力して清掃活動を行い、喜茂別町の史跡の保護に貢献するとともに、異世代間の交流を深める。			
	事業の概要		事業の成果と課題			
	会員と中学生がお大師山散策路を3方向に分かれて、散策路と八十八体石仏の周りに堆積した落ち葉や枯れ枝などを取り除く清掃活動を行いながら交流を深めた。		お大師山散策路及び八十八体の石仏の周りを清掃することで、まちの歴史の保護に貢献している。今年度は喜茂別中学校2年生と協力して清掃活動を行い交流を深めた。また社会教育委員にも協力を依頼し実施した。初め中学生は慣れない作業で戸惑いもあったが、時間が経つにつれ作業の要領を得て、会員との会話も増え、楽しく交流しながら清掃することができた。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模	その他	評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	継続	

No	事業名		事業の目的			
3	第1回交通安全事業「子どもたちと帰ろう！」(小学生との交流)		会員が小学1・2年生と一緒に下校しながら交通安全指導と子どもとの交流を図りながら、子どもたちに普段歩き慣れた通学路の危険箇所を再認識してもらい、交通安全に対する意識を高めてもらうとともに高齢者と小学校とのネットワークの構築を図ることを目標とする。			
	事業の概要		事業の成果と課題			
	開会后、会員より自己紹介を行う。下校時の危険箇所のプリントを配布し、下校時の安全について説明。各児童の帰宅ルート(6つ)に分かれ、会員と小学生が交通ルールを守り、通学路にある危険箇所を確認しながら一緒に下校し、交流を深めた。		会員と児童と一緒に下校し、日常生活や学校での話をするだけでなく、通学路上での危険箇所や交差点での一時停止・左右確認等、交通安全の基本事項の確認をした。交通安全事業をとおして、普段接する機会の少ない子どもたちと会員が交流を深めることができた。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模	その他	評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	小学校との連携事業 継続	

No	事業名	事業の目的					
4	フレッシュ大学「研修旅行」	フレッシュ大学会員相互の交流を深めるとともに、秋の訪れを感じながら、心身ともにリフレッシュを図ることを目的とする。					
	事業の概要		事業の成果と課題				
	教育委員会バスで千歳市「北海道キッコーマン」まで移動。施設内にある工場で醤油の製造ラインの見学を行った。その後厚真町「こぶしの湯あつま」に移動し昼食会を行った。		工場見学では、「北海道キッコーマン」にて醤油の製造ラインを見学し、貯蔵タンク等のスケールの大きさに驚愕するとともに、普段よく利用する醤油が作られる工程を知ることが出来た。「こぶしの湯あつま」では、ゆったりとした時間を過ごし、心身のリフレッシュを図ることができた。バスの移動中も参加会員同士が楽しく話し交流を深めていた。年に一度の研修旅行は、会員相互の交流が深まり、知識を高めることの出来る活動の一つであり、今後聞き取り調査の結果を基に次年度も取り入れていく。				
	必要性	有効性	効率性	事業の規模	その他	評価結果	
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止		継続	

No	事業名	事業の目的					
5	第2回交通安全事業「子どもたちと帰ろう！2」 (小学生との交流)	フレッシュ大学で、これまで学習してきた交通安全体験の成果を活かす場として、喜茂別小学校1・2年生と一緒に下校しながら、冬の交通安全指導を行なう。これによって、地域ぐるみで子どもを見守る取り組み、高齢者と小学校とのネットワークの構築を図ることを目的とする。					
	事業の概要		事業の成果と課題				
	開会后、会員より自己紹介を行なう。各児童の帰宅ルート(5ルート)に分かれ、会員と小学生が交通ルールを守りながら一緒に下校した。また、13日(月)の下校前にはワークスペースで昔の遊び(宝引き)を行い、会員と小学生とが交流する時間を設けた。		会員が二日間子どもたちと一緒に下校しながら、冬の通学路における交通安全指導を行うことができた。 一日目の下校前は、自己紹介と昔遊び(宝引き)を行うことで会員の顔を覚えてもらい、下校時は、学校や家での話しや、勉強・友だちの話を楽しみながら下校した。 二日間の交通安全事業をとおして、普段接する機会の少ない子どもたちとの交流を深めるとともに冬道の交通安全を再認識することができた。 会員の参加が少ないことから、今後も社会教育委員等に協力を依頼し事業を継続していくとともに、雪のない歩きやすい時期に開催を早める等、会員の参加増となるよう検討していく。				
	必要性	有効性	効率性	事業の規模	その他	評価結果	
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	小学校との連携事業	継続	

No	事業名	事業の目的				
6	第18回喜茂別町・真狩村高齢者学級交流会	両町村の高齢者学級受講生が、年に一度集い、仲間づくり、生きがい作りのため交流を深めるとともに、生活の活力を養うことを目的とする。				
	事業の概要		事業の成果と課題			
	喜茂別町と真狩村が持ち回りで実施している事業で、本年度は真狩村での開催。開会式では、本年度数え年88歳(大正12年生まれ)の方へ記念品の贈呈を行なう。開会式終了後、積丹町教育委員会社会教育主事による介護予防に繋がるウォーキングの基礎的な話と椅子に座りながら気軽に出来る運動を行った。昼食後、午後の芸能発表会では、各町村10組の出演により実施。閉会式を行ったのち解散した。		積丹町教育委員会社会教育主事による講話では、「日常生活の中に介護予防に繋がる運動がある」としウォーキングを取り上げ、ポールを用いた場合の歩き方や効果の説明、また椅子に座りながら気軽に出来る運動で、頭と体を使った笑いのある学びの時間となった。芸能発表会では、カラオケ・舞踊と日ごろの練習の成果を発表するよい機会となった。閉会式では、両町村代表より来年の喜茂別での再会を約束する言葉があり、皆で元気に「北国の春」を合唱して終了。両町村の受講生がより交流を深める場となった。次年度は喜茂別町で開催。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模	その他	評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	真狩村との連携事業	継続

事業の領域		スポーツの振興		領域目標	スポーツに親しみ健康増進を図る活動の推進		
No	事業名			事業の目的			
1	教育長杯ゲートボール大会			町内のゲートボール愛好者同士の親睦を深める場の提供を図り、ゲートボールを通じての健康づくりを目的とする。			
	事業の概要			事業の成果と課題			
	開会式終了後、参加5チームによるリンク戦(1チーム2試合行う)により競技を行い、勝敗・得点により順位を決定する。			当初5月開催予定であったが、雪解けが遅かったことから今年度は6月中旬の開催となった。参加者は敵味方関係なく声援を送り交流を深めていた。ゲートボール愛好者にとって本大会は日頃の練習の成果を発揮するシーズン最初の大会であり、開催を待ち望んでいる事業である。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模		その他	評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	老人クラブ連合会ゲートボール部との連携事業	継続	
2	健康づくりラジオ体操会			ラジオ体操を通して健康づくりを図るとともに、参加者同士の交流を深めることを目的とする。			
	事業の概要			事業の成果と課題			
	朝6時30分からの、NHKラジオ体操放送にあわせて体操を行なう。			ラジオ体操を通じて一日の始まりを爽やかに迎え、心身共にリフレッシュすることで参加者の健康づくりを図ることができた。また、参加者同士が挨拶等を交わす地域のコミュニケーションの場として、さらには、地域で子どもたちを見守る事業としても成果をあげている。子どもたちが毎日自主的に指導者台に上がり、みんなの手本となるよう体操を行っていた。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模		その他	評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	ラジオ体操愛好会・町体育指導委員会との連携事業	継続	
3	教育長杯パークゴルフ大会			幅広い世代に気軽に楽しめるパークゴルフを通して、健康づくりと参加者の親睦を図ることを目的とする。			
	事業の概要			事業の成果と課題			
	種目 個人 一般男女36ホールストロークプレイ 表彰 男女とも優勝から3位まで(優勝決定戦のみプレーオフ(サドンデス)以下は年齢が上の方を上位とする。)			誰でも気軽にできる健康づくりスポーツであり、参加者も楽しみにしている行事ではあるが、競技人口も増え、パークゴルフ大会等も各市町村で開催し個々のレベルに応じた競技に参加している状況である。さらに、パークゴルフ協会も会員が主体的に大会等の運営もやっていることから本年度で大会を取りやめることとした。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模		その他	評価結果
<input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 有効 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	パークゴルフ協会・体育指導委員会との連携事業	終了	

No	事業名	事業の目的				
4	町民登山会	自然とふれあうことによって培われる感性を養う。また、参加者同士の親睦を深めることを目標とする				
	事業の概要		事業の成果と課題			
	開会后、教育委員会前を出発し大滝村登山道入口まで移動する。登山口で簡単な柔軟体操を行い、登山会を開始する。「徳舜警山コース」「徳舜警山・ホロホロ山縦走コース」と二通りで体力に応じて山頂まで目指す。		雨天のため中止。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模	その他	評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	後志森林管理署	継続

No	事業名	事業の目的				
5	秋の町民歩こう会	紅葉のシーズンに美しい風景を見ながら、だれにでも気軽にできるウォーキングで、健康の維持と心身のリフレッシュを図るとともに、参加者同士の親睦を図ることを目的とする。				
	事業の概要		事業の成果と課題			
	教委バスにて東急ゴルフコース駐車場まで移動し歩こう会を開始。緩やかな散策路を歩き鏡沼へ。鏡沼で小休止・記念撮影をし、スキー場整備道を通してヒラレストハウス「自然情報室エコル」に到着。記念撮影を行った後、レストハウスにて昼食・休憩を取り、ゴンドラリフトにて下山。帰りのバスの中で閉会式を行った。		参加者は秋のニセコの爽やかな空気の中、紅葉に染まり始めた山の景色を楽しみながら心地よい汗をかいていた。 参加者同士が水たまりやぬかるんだ斜面で声を掛け合い、レストハウスではコースや景色の感想等を話し合っただけで交流を深めていた。 だれでも気軽にできるウォーキングを通しての健康づくり推進に必要な事業である。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模	その他	評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	きもべつ歩こう会との連携事業	継続

No	事業名	事業の目的				
6	町民講座 アクアウエーブ水泳教室	水の特性である浮力・水圧・抵抗を利用して、水の中で楽しく運動することにより、健康の保持の推進に努めるとともに、参加者同士の交流を図る。				
	事業の概要		事業の成果と課題			
	町体育指導委員でもある守山えつ子さんを指導者として、水中ウォーキングを中心とした運動を行う。		参加申し込み人数5名以下は中止といった周知を行っていたので、定員に満たなかったため中止とした。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模	その他	評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	体育指導委員会との連携事業	再考

No	事業名			事業の目的		
7	町民講座・スポーツ教室「アルペンスキー・スノーボード教室」			アルペンスキー・スノーボードの基本的な技術を習得するとともに、北海道の自然を体験できるアルペンスキー・スノーボードを通じ気軽に体力づくりを図る。		
	事業の概要			事業の成果と課題		
	参加者は、武道館前に集合し、教育委員会バスでルスツリゾートスキー場へ向かう。参加者の技術に応じて班編成を行い、町スキー連盟指導員の指導のもとスキー・ボード教室を行う。			町スキー連盟指導員により、参加者の技術に応じたアルペンスキーの指導を行い、参加者は、基本的な技術・知識を楽しく習得することができた。 本年度の参加者は小学校1年生が多かったため、1年生の保護者にスキー靴の脱ぎ掃き等の協力を依頼した。この事業に対し保護者の期待が大きいことを改めて実感した。次年度以降も継続して実施していきたい。 本年度は、スノーボード受講者はなし。		
	必要性	有効性	効率性	事業の規模		その他
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	町スキー連盟との連携事業	継続

No	事業名			事業の目的		
8	喜茂別町水泳プール開設			水に親しむため喜茂別町水泳プールを開設する。水泳プールを活用し、水泳の技術を習得するとともに、水中の運動により地域住民の健康づくりを促す。		
	事業の概要			事業の成果と課題		
	水泳プールを利用した、水泳の技術の習得・向上、水中ウォーキングなどの運動で町民の健康づくりを図るため、水泳プールを開設する。また、子どもたちの遊ぶ場としても活用。			一般町民の利用はもちろん、各小学校の水泳授業、保育所の水遊び、児童クラブの利用、各関係団体と連携して子ども水泳教室などを実施し、幅広く町民に利用されている。		
	必要性	有効性	効率性	事業の規模		その他
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止		継続

No	事業名			事業の目的		
9	学校体育施設開放事業			喜茂別町立小中学校の体育館を学校教育に支障のない範囲においてスポーツの場として町民に開放し、町民の健康・体力づくりの推進に資するものとする。		
	事業の概要			事業の成果と課題		
	喜茂別小学校体育館を学校教育に支障のない範囲で開放を行う。利用する団体等は、教育委員会に利用申請を行い、その許可を受け、スポーツ活動を行う。開放時には、教育委員会で管理指導員を配置する。			定期的にスポーツ活動を実施している団体開放と、町民が自由に利用し健康・体力づくりが行える一般開放を実施している。団体開放では、ミニバレーボール・フットサル(室内サッカー)・野球(冬期間)等の団体が利用している。 また、各団体で大会等が開かれており、町民の交流・健康づくりの場として幅広い世代に活用されている。		
	必要性	有効性	効率性	事業の規模		その他
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止		継続

事業の領域	芸術・文化の振興	領域目標	創造性豊かな地域文化の推進
-------	----------	------	---------------

NO	事業名	事業の目的				
1	喜茂別町文化祭	町内で活動している各芸術・文化団体及び各サークル・愛好者が一堂に会し、日頃の活動の成果を発表・展示し、多くの町民に活動内容を知ってもらう。また、町民に芸術・文化活動作品の鑑賞機会を創出することにより、町の芸術・文化の振興と発展を図るとともに、町民の芸術文化に対する関心を高めることを目的とする。				
	事業の概要		事業の成果と課題			
	文化祭を円滑に実施するため、文化祭実行委員会を組織し、実行委員会が中心となり文化祭を開催した。 10月30日(土)午前9時00分からパネル搬入・会場設営及び各展示作品の搬入・展示を行なう。展示会は、31日(土)午後1時00分～午後5時00分、 10月31日(日)午前9時00分～閉会式終了まで10作品展の展示会を実施。午前9時30分文化祭開会式を実施。午前10時00分から芸能発表会(8団体42演目の発表)を実施。その他販売コーナー、富田工務店の協力による包丁研ぎも実施した。 閉会式終了後、実行委員等により後片付けを行い終了した。		文化祭実行委員会を中心に、各団体・サークルの連携がとれ、文化祭の運営が円滑に進み、盛会に終了することができた。 展示会では、各団体・サークル・児童生徒や個人の作品などを展示することができた。芸能発表会では、各団体・サークルが日ごろの活動成果を発表し、会場を盛り上げていた。 閉会式を全体合唱で終了した。			
	必要性	有効性	効率性	事業の規模	その他	評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題有り	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行水準 <input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p style="text-align: center;">継 続</p>	